

【水仙会・ことじの会・きときと会】



五月雨の 晴れ間にいでて 眺むれば
青田すずしく 風わたるなり 【良寛】

風薫る5月。皆さまにはお元気でお過ごしのことと拝察致します。

昨年の春から続く新型コロナウイルス禍は、まさに生活習慣や社会、経済活動を根本から変えることを迫っているようです。JTBも生き残りをかけて資本金23億余を1億円に減資する他、構造改革で乗り越えるべく懸命の努力を続けていることは報道でも取り上げられ、皆さまも心を痛めていらっしゃるでしょう。そのような中で、OB・OGの私たちは何が出来るのか。心を寄せる — そんなことしか出来ないかもしれませんが、出来る範囲で、旅行紹介やナイスギフト、宅配贈答商品、保険などの持ち込みで応援しましょう。

コロナをただ恐がるのではなく、正しく怖れ、ともに生きる知恵が求められているようにも思います。なかなか交流・懇親の機会がもてませんが、免疫力向上を図るなど、自主自衛で頑張りましょう。

● 江戸中期の高岡をジオラマで再現！

【きときと会会長 出口 憲史さん】

15年前から地元の観光ボランティアガイドグループ「保与の会」で活躍、代表を務める出口さん制作のジオラマが、高岡市の御旅屋セリオ(旧大和高岡店)2階に今年1月から展示されています。昨年5月頃から10月にかけて図書館で史料を探したり、博物館の学芸員のアドバイスを受けて、縮尺1800分の1、縦横各180cmの大作が完成しました。江戸時代中期、1770年頃の高岡の町並みを忠実に再現したもので、もはや趣味の域を超えて、アートの世界です。北日本新聞にも大きくとり上げられました。

コロナ禍の自宅時間を活かした明るい話題です。



● 令和3年度も水仙会はコロナに立ち向かいます

【水仙会代表幹事 山崎 義雄さん】

昨年度から代表幹事を務める山崎さんですが、就任早々数々の懇親活動(歩こう会1回、茶話会7回、忘年会)を企画、実施されました。今年も会員の皆さんから「コロナに負けずに実施を」との声を受け、幹事の島田義雄さんと2人義雄体制で頑張りますとの決意を語られました。

計画は総会(5月)、歩こう会(10月)、忘年会(12月)、茶話会は毎月1回実施とし、コロナの影響が小さければ、日帰り研修ツアーも予定とのこと。



● ことじの会のみなさまへ 【ことじの会世話人 南 修】

コロナ変異株が第4波となって、石川県では今年も静かな一年を余儀なくされそうです。そんな中、私自身が仕事で濃厚接触者判定を受けることとなり、PCR検査は陰性でしたが、14日間の自宅待機に加えて、検温結果と体調報告を毎日保健所に報告という経験をしました。令和3年度の活動計画や総会について会田副代表世話人と打合せしたのが、当該患者(亡くなりました)との面談の前日でしたので、ご迷惑をおかけすることにならず一安心。しかし、あらためてコロナはすぐ近くに存在することを思い知らされた出来事でした。

今後の予定は、中部支部と同様に書面表決総会(5月25日)を行い、表決議案に ①年会費の取り扱い ②交流・懇親活動の原則休止(コロナの状況により、会員の希望をとり実施可能) を加えます。

